

インバウンドビジネスを創出するグローバル・ローカリゼーションプロジェクト

主な連携先地域：さいたま市、那須エリア、関東中心部から北関東における各主要地域



<p>対象地域の特徴や課題</p>	<p>さいたま市は東日本の玄関であり、上越・北陸、東北方面への新幹線、そして都心との交通も容易であり、東京を訪れた訪日外国人観光客が広域観光を行うためのハブとなりうる。また、那須エリアもさいたま市から近く、より多くの観光客の誘致による活性化を課題としている。各地域における新たな観光資源の開発やインバウンドビジネスの機会の創出をしていくことを目的とする。</p>
<p>取り組みの概要や特徴</p>	<p>本プロジェクトは2015年度からさいたま市と連携して開始した。その後、那須エリアや東京都含む関東中心部から北関東における各主要地域と関連企業と連携してきた。地域の特産物のPRやインバウンド向けの新規ビジネス提案、地域のモビリティを利用した観光促進、訪日外国人観光客対応のためのVRトレーニングによる観光人材の英語教育、well-beingを目的としたバリアフリー観光などの活動を通じて、学生は地域の特性や文化についての理解を深め、その地域の観光産業での課題を発見し、システム思考を用いた課題解決法を学ぶ。</p>
<p>主なプログラムなど</p>	<p>大学院授業や学部授業におけるProject-based Learning (PBL) を行う授業および、卒業研究、修士論文など。 授業名：システム工学特別演習（大学院・前期、必修）、Cross-innovation Project（大学院・後期、選択）、Cross-cultural Engineering Project（大学院、集中、選択）、演習C（システム理工学部・前期、選択）、機械システムゼミナール（システム理工学部・後期、選択）</p>



<p>担当研究室名/担当教員</p>	<p>観光・言語情報研究室（工学部 電子工学科）教授 村上嘉代子 最適システムデザイン研究室（システム理工学部 機械制御システム学科）教授 長谷川 浩志 情報通信デザイン研究室（システム理工学部 電子情報システム学科）教授 間野 一則 社会システム科学研究室（システム理工学部 環境システム学科）教授 市川 学 デジタルエンジニアリング研究室（システム理工学部 機械制御システム学科）教授 渡邊 大 知能情報処理工学研究室（工学部 機械機能工学科）准教授 中村 真吾 教育心理学研究室（工学部 土木工学科）教授 岡田 佳子</p>
--------------------	---

<p>関連サイト</p>	<p>さいたま市観光国際協会 那須町観光協会 さいたま市 那須町</p>
--------------	---